

平成24年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	3. 市道I-49号線(佐倉城下町通り)整備事業
項	2. 道路橋梁費	中事業	
目	3. 道路新設改良費	担当所属	道路建設課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
臨時	補助		100,000	△80,000	0		平成24年度	0
							平成25年度	0
							平成26年度	0
							平成27年度	0
							平成28年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	11,000	20,000
本年度当初査定額	11,000	20,000

財源内訳	国庫支出金							一般財源
本年度当初要求額	11,000							9,000
本年度当初査定額	11,000							9,000

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 城下町としての歴史的背景や景観、地域の利便性など多様な角度から道路整備を市民の意見を反映させながら実施する。</p>	<p>(事業の目的) 歩道のフラット化や無電柱化を実施することにより、歩行空間や良好な都市景観の形成を確保することにより社会的交通弱者等の安全性、快適性及び地域の活性化の向上を図る。</p>	<p>(事業の効果) 歩道のフラット化整備による歩行者等の通行機能を確保することにより、市民生活の安全性や快適性の向上が図れる。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 城下町の道路であることから幅員が狭い。また、官民境界が未確定な箇所が多く、道路整備による沿線商店などへの利害関係の発生が懸念される。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、効率的な施工方法を経済的に検討し、最小の経費で最大の効果が得られるように努める。</p>	<p>(見積についての特記事項) 平成14年度に千葉県から移管された路線であり、単なる道路改修ではなく、城下町としての歴史的背景や景観、地域住民の利便性の確保など、多様な角度から整備方針を検討し、事業を進める必要がある。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
15	20,000	100,000	△80,000

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	14	02	03	01	01	00	社会資本整備総合交付金	11,000	11,000	38,500	△27,500
差引一般財源								9,000	9,000	61,500	△52,500